

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	15.03.12			
平成15年度	事業コード	33120	電話	042-769-8249
担当部課名	都市部	都市交通計画	課	交通計画 班
事務事業名	公共交通計画関連事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	利便性の高い公共交通網の確立をめざします	事業開始年度
基本施策名	第2節	利便性の高い公共交通網の整備	63以前年度
施策名	第 施策		

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市域の鉄道、バス交通等の整備促進及び新しい交通システムの調査検討を行う相模原市公共交通整備促進協議会に対し助成し、市民生活の向上と文化産業の進展を図る。	市公共交通整備促進協議会
	対象数 1
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
同協議会の組織運営及び鉄道事業者に対する利用者の利便性向上のための輸送力の増強、施設整備等の要望活動、新しい交通システムの導入に関する市民フォーラム等の事業に対し助成した。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	駅舎内垂直移動施設設置率	市内のエレベータ又は車椅子対応型エスカレータ設置駅数 ÷ 駅数 × 100	設置状況の推移により鉄道事業者に対する要望活動の成果をみる	60	67	67	67	67
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	0	90	441	132	132
人員・時間数	0	3時間	3時間	3時間	3時間
人件費	0	13	13	13	13
その他経費	0	0	0	0	0
合計	0	103	454	145	145
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	1	1	1	1	1
対象の単位あたり経費	0.0	103.0	454.0	145.0	145.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
		説明	鉄道施設の整備については、事業主体が鉄道事業者となるため、市の計画等と整合が図れないことがある。			
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている			
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している			
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない			
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市議会議員や自治会連合会を始め、市内各種団体で構成されており、これらを通じ市民意見の集約が効果的に行うことができる。			
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である			
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている			
	C : 有効ではない		説明 鉄道、バスを対象とした活動が中心となるため、その事業者への要望等は市民レベルでの活動が有効である。			
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている			
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている			
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている			
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 組織の構成上、市の施策に効率よく民意を反映することが可能である。			
(5)公平性 評価 ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である			
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である			
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)			
		説明				
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： この協議会を媒体として、市の施策等の情報提供とそれに対する市民意見の把握に、より一層活用できる。		手段			
			削減額	千円		

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		県内他市町村には相模原市公共交通整備促進協議会のように、各種団体で常設された組織はなく、他市町村と比べ公共交通整備に関する計画の策定や事業の実施に際して、幅広く民意を反映することが可能である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	パートナーシップによるまちづくりを推進する上で、今後も継続すべき事業である。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--